

授業科目名・形態	人体の構造と機能Ⅱ	演習	必修・選択の別	必修
担当者氏名	武尾 照子	開講期	1年後期	単位数 2

【授業の主題】

前期に開講した「人体の構造と機能Ⅰ」および「人体の構造と機能Ⅱ」で修得した形態学・代謝（生化学）の知識を基に、本科目では、人体の生理機能について学びます。ヒトのからだには、生きていくためにどのような仕組みが備わっているか、そしてその仕組みがどのように機能の調節に関わっているかを考え、生命を維持する仕組みについて総合的に理解します。このことは後に学習する、疾病や患者さんの状態を知るための基礎になります。

【到達目標】

- 1) 内分泌系の構成と分泌調節の仕組みを説明できる。
- 2) 各ホルモンの作用と調節系としての役割を説明できる。
- 3) 消化器系の概要と消化管運動、消化液分泌の仕組みを説明できる。
- 4) 尿生成と体液調節の仕組みを説明できる。
- 5) 感覚器系の概要と役割を説明できる。

【授業計画・内容】

- 第1回：内分泌系（1）ホルモンの一般的特徴・分泌調節
 第2回：内分泌系（2）各論－視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・膵島
 第3回：内分泌系（3）各論－副腎皮質・副腎髄質・性腺ホルモン・その他
 第4回：消化器系（1）消化器系の働き・消化管運動
 第5回：消化器系（2）消化液の分泌調節
 第6回：泌尿器系（1）尿の生成
 第7回：泌尿器系（2）細胞外液の調節
 第8回：感覚器系（1）感覚の一般的性質
 第9回：感覚器系（2）視覚・聴覚
 第10回：感覚器系（2）平衡感覚・味覚と嗅覚
 第11回：感覚器系（3）体性感覚・痛覚（皮膚の構造）
 第12回：生殖 および まとめ
 第13回：グループワーク（1）加齢に伴う身体機能の変化
 第14回：グループワーク（2）加齢に伴う身体機能の変化
 第15回：グループワーク（3）加齢に伴う身体機能の変化

【授業実施方法】

講義形式およびグループワークで行う

【授業準備】

講義内容をふまえ、該当する教科書の内容を確認するなど、復習に力点を置くこと。
 配布の復習問題を解き、自己の理解度を確認すること。

【主な関連する科目】

前期に開講する「人体の構造と機能Ⅰ」「人体の構造と機能Ⅱ」

【教科書等】

「人体の構造と機能」第3版、編集：佐藤昭夫・佐伯由香・原田玲子、医歯薬出版株式会社

【参考文献】（参考書）

- ・ からだの構造と機能：A. シェフラー S. シュミット 著 三木明德 井上貴央 監訳（西村書店）
- ・ カラー図解 人体の正常構造と機能 《Ⅲ消化器、Ⅴ腎・泌尿器、Ⅵ生殖器、Ⅶ血液・免疫・内分泌、Ⅸ末梢神経・感覚器・皮膚》坂井建雄 河原克雅 総編集（日本医事新報社）

【成績評価方法】

筆記試験 80%、グループワーク 20%で評価します。出席状況は評価対象の可否に用います。

【学生へのメッセージ】

疑問点を放置しないで、調べる習慣をつけてください。